

作品介绍

語り劇団・京桜座一家は、今日でも輝きを失わない古典や童話を多人数の語りによる、お芝居的語りをめざしています。語られる作品には、今ではあまり聞かれない説経節「しんとく丸」「山椒大夫」や名作童話「つる女房」「フランダースの犬」などを新しく「講釈」しなおし、歌や踊りを交えて生き生きと表現することを目標にしています。現代に起こる様々な問題を面白く創作した、今を語る講釈「今釈」も同時にやっています。是非古典の確かな構成とオリジナリティー豊かな作品を語ってみませんか？



説経節「しんとく丸」

能や人形浄瑠璃などでよく取り上げられる有名なお話。長者の家に生まれたしんとく丸が継母の呪いで、哀れな姿に変わり果てるが、乙姫の愛によって元にもどるといふ慈悲のお話。



説経節「山椒大夫」

人買いに逢い、母と別れた安寿と厨子王の物語。安寿の犠牲で生き延びた厨子王が出世し、姉を救い出そうとするが、時すでに遅し・・・。



講釈「フランダースの犬」

ご存知パトラッシュとネロのお話です。あの感動の世界名作童話を講談調にお聞かせします。ラストはハッピーエンドにアレンジしてあります。

講釈「つる女房」

つるの恩返しの大人数バージョン。

講釈「不揃いの隊員たち」～森浩一物語～

古代に魅せられ、戦中、戦後と古墳や遺跡を守った一人の考古学者のお話。堺の世界遺産推進室の協力で作られた作品。

講釈「天王寺蕪一代記」

「なにわの伝統野菜」として復活した天王寺蕪。しかしその蕪も明治の終わりに絶滅。しかしある人物がその復活にチャレンジする。中国、四天王寺、長野、大阪、と繰り広げられる壮大なお話。

落語講釈「地獄八景亡者の皿」

落語の「皿屋敷」と「地獄八景亡者戯」との合体講釈話。

他にも「くじらに乗ったお月さま」「あめあめふれふれ」など幼児、ファミリー向けのファンタジックなオリジナルミュージカル作品もあります。



申込用紙

住所	〒 ー				
名前	フリガナ	性別	年齢	歳	
電話番号	fax 番号				
メールアドレス					



問合せ & 申込先 sakurathfamily@gmail.com
TEL080-4243-8379
FAX06-6623-8842

桜座一家

検索